

みみタロウ

日本語版 2025年10月 ☆157号

滋賀県国際協会 ボランティアグループ「みみタロウ」
住所：大津市におの浜1-1-20 ビアザ淡海 2F

Tel : 077-523-5646

E-mail : mimitaro@s-i-a.or.jp

URL : https://www.s-i-a.or.jp

f : https://www.facebook.com/siabiwako



まな つづ ぜんしん 学び続けて、前進！

今回みみタロウは、湖南省立甲西中学校夜間学級を訪問し、生徒さん方からお話を伺いました。

ホンジョウ ローランド フェルナンデスさん



日本人と結婚した母の呼び寄

せで、18歳の時フィリピンから来日し、父の養子になりました。日本語学校に一年間通った後、しばらく電気屋だった養父の手伝いをし、その後会社で働いています。メモを取りながら日本語を覚えていき、リフトやクレーン、玉掛けの資格も取得しました。系統的な学習方法で、日本語をしっかりと学びたいと思っていたところ、子どもが小学校から持ち帰った夜間中学のチラシが目にとまり、「これだ」と思って入学しました。

夜間中学では、日本語だけでなく中学の全教科を勉強することは想定外でしたが、広範囲の日本語や文化の知識に触れることになり、本当に良かったです。どの授業も面白くて時間が早く過ぎ、いつも「えっ、もう授業が終わり?!」と思ってしまいます。特に数学の授業が気に入っていて、先生のわかりやすい説明で、昔わからなかったことが理解できるようになりました。今までなんとなく数字を避けてきましたが、しっかり勉強して、今後の仕事にも活かしていければと思っています。

毎日会社の仕事が終わると、少し何か口に入れて学校に駆け付けます。そして勉強が終わり、家に帰ると、もう9時半過ぎで、子どもたちと過ごす時間がないことが、目下の悩みです。でも子どもたちに勉強のことを尋ねられたらきちんと答えられるようになりたいので、今は我慢の時ですね。

少し歳を重ね、人生の短さ、時間の大切さを感じるようになりました。私たち外国人にとって言葉は大きな壁ですが、何もしなければ、何もできないままです。前を向いて学び続けることで、人生が広がります。それには年齢は関係ありません！

ルシエネ バルボザ ムトウさん



子どもの頃、写真で見た木造建築に魅せられ、日本は私にとって行ってみたい国でした。日系人の夫との結婚後、夫は会社を、私は化学の教師を辞めてブラジルから来日したのが人生のターニングポイントです。

来日後は、英語や化学の教師などの希望する仕事になかなか見つからず、工場で働き始めました。その職場のフィリピンと日本にルーツのある上司と英語で会話していて、「日本にいるなら日本語を勉強しないと」と言われたのが日本語学習のきっかけです。そして一年間、彼の奥さんから毎日仕事の休憩時間に15分ずつ日本語を教えてもらいました。その後本格的に日本語を勉強したいと思い、「しごとのための日本語」や「外国人向け職業訓練」を受講し、介護の資格も取りました。たいして日本語ができずに受講したのに、講習修了時には満点を取って先生を驚かせたことが自慢です。そして、夜間中学の開校を知って迷わず入学。昼は介護の仕事や幼児にポルトガル語を教えたりしながら通学しています。

ここが学校だとは知っていましたが、まさか私がこの学校の生徒になるなんて思ってもいませんでした。どの先生も素晴らしく、最初難しく感じた授業の説明もわかるようになってきました。まずは卒業することを目標に、自由に日本語を話し、読めるようになりたいです。そして、今できること、自分が惹かれることを積み重ねながら成長し、人の役に立てれば嬉しいです。

☆☆☆

☆☆☆

☆☆☆

2年生は、フィリピン、ブラジル、中国、ネパール国籍の生徒さんのクラスです。

この日の国語の時間では、カルタ遊びを通して日本語の表現や文化を学んでいました。

